

# 「上山城」からのたより 初夏・第168号

## 上山藩 大奥様のお中元

(公財) 上山城郷土資料館学芸員 長南伸治

七月といえば「お中元」の季節ですね。

「お中元」と問われれば「日頃お世話にな

っている人に感謝に意を込めて贈り物を

すること」と答えるのが今では大正解な

のですが、本来は神様にお供え物をして

日頃の罪を懺悔する日(七月十五日)だっ

たそうです。私もそうですが、本来

の「お中元」に戻ったほうがいい「罪

深き人」は意外に多い!?!と思っ

てしまいますが…これは冗談なの

で聞き流してください。

さて、江戸時代、上山藩内でも「お

中元」の時期に贈り物をしている

ことが、藩士の日記から確認でき

ます。その贈り物の中身をのぞい

てみましょう!

掲載画像は上山藩士三輪家の日

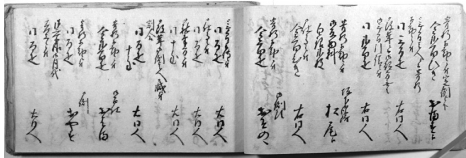
記で、その中の弘化三(一八四六)

年七月十三日の出来事に、大奥様

【常設展示室から】抽選で景品が当たる

クイズ上山城探検

を毎月実施中。クイズを解きつつ、ご見学をお楽しみください。



上山藩士三輪家の日記 (上山市蔵)

(上山藩主松平信宝の母)が江戸藩邸で日頃から自身の世話役として働いてくれる女中達に贈ったお中元の品の一覧が記されています。以下、贈られた相手と品を提示します。

① 部屋管理人 おます・金七百疋/② 上

役世話人 松尾・白銀二枚

と金百疋/③ 御側頭 おそ

の・金四百疋二十匁/④

召仕人 おます・金二百

疋/⑤ 御側役 おやす・金

三百疋十匁と銀十匁/⑥

小間使 おとみ・銀十匁/

⑦ おむね・鼻紙五束/⑧

御茶之間役 おとき・金四

朱と銀十匁/⑨ 末役 みと

り・金六朱/⑩ 洗物係

みどり・金一朱/⑪ 取次

役 おつね・金四朱と銀五

匁/⑫ 上役世話人 おきと・金百疋

大奥様には女中が十二人も付き従って

いたことがわかります。おそらく、その女

中のトップは「おます」。かなりのやり手

だったでしょうね。

それはさておき、大奥様はお中元とし

て、十一人に金銀(金銭)を、一人に「鼻紙

を贈っています。なぜ「おむね」だけ「鼻

紙」? しかも五束も? と思ってしまうま

すが、この点は不明ですのでご勘弁くだ

さい。今でこそお中元といえば多種多様

な品々を贈るようになっていますが、上

山藩の大奥様は、金銭を贈るという、もの

すごいストレートな方法で感謝の意を伝

えていたことがわかります。

みなさんもお中元選びに迷ったら、思

い切つて「鼻紙」ではなく「金銭」を贈っ

てみてはいかがでしょうか? 意外と好評

かもしれませんよ。